

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援等）

当社は前橋生鮮食料品総合卸売市場の仲卸であります。通常の市場での取引に加え、産地との直接取引を重点的に拡大し、生産者の安定出荷と手取り増加に取り組むとともに取引先へより新鮮な青果物を届け、生産者・当社・取引先の共存共栄を目指します。

b. 健康経営に関する取組（健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施等）

当社は50人ほどの中小企業ですが、従業員あつての会社と考え、①適正な昇給②有給休暇の消化推進③従業員の健康増進を会社運営のベースに据え、特に③の健康の増進においては高齢者が多いので、定期健診や健康相談の受診を積極的に推進しています。またもしもの時に備え、作業場にAEDも設置いたしました。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組めます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働きかた改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

自社の利益のみを考えるのではなく、仕入先・販売先とウインウインの関係を築けるように努力を続ける。まず長いお付き合いをすることが、利益を継続的に生み出すことと考え、品質第一に加え誠意のある対応で信用を得て、継続的な取引を維持したい。

令和7年7月1日

株式会社グリーンファースト	代表取締役 高山勝彦
企 業 名	役職・氏名（代表権を有する者）